

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	弓削商船高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	商船学科 航海コース		2	2	7	11	7	
	商船学科 機関コース				8	12	7	
	電子機械工学科			0	19	21	7	
	情報工学科			0	13	15	7	
	生産システム 工学専攻		6	0	6	12	7	
	海上輸送システム 工学専攻			0	2	8	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

< https://www.yuge.ac.jp/subject/syllabus >にて公開

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	弓削商船高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/upload-file%20folder/02_%E4%BA%BA%E4%BA%8B/kisoku/yakuin-20220401.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	熊本大学長	2016年4月1日～ 2024年3月31日	理事長
常勤	豊橋技術科学大学 理事・副学長	2020年4月1日～ 2024年3月31日	国際交流・海外展開 情報システム
非常勤	東京大学教授	2022年4月1日～ 2024年3月31日	男女共同参画
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	弓削商船高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 国立高等専門学校機構で統一した Web シラバスのフォーマットに沿って、毎年度 12 月～3 月の期間に、授業計画書を各教員が作成し、教務委員会で確認の上、Web シラバスにて公開する。 また、各科目の最初の講義で学生に対してシラバスの説明を行っている。なお実務経験のある教員等による授業科目についてはその旨を記載している</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p><https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=41&lang=ja>にてシラバスを公開</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学習成果の評価方法については、シラバスに明記し、それに沿って試験、レポートなどの提出物、発表などを評価し、「弓削商船高等専門学校学業成績の評価並びに進級・特別進級及び卒業の認定に関する規則」に基づき、その結果を教員会議の場において教員の審議を経て校長が厳正かつ適正に評価して単位を与えている。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 定期試験ごとに100点法をもって評価した学業成績の平均点をもって順位を算出するものとする。なお、専攻科については各期末に算出する。平均点は小数点以下第3位を四捨五入し、同点の場合は同順位とする。なお、休学者は順位の対象外とし、留学生は其中で順位を決定する。また「合・否」や「履修・未履修」で表記される科目は計算に含まない。</p> <p>対象外科目：特別活動、卒業研究、校内練習船実習、商船学セミナー、インターンシップ、地域創生演習1、地域創生演習2</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	< https://www.yuge.ac.jp/student/educationrules >にて 公表
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ディプロマ・ポリシーを定め、<https://www.yuge.ac.jp/school-guide/policy> <https://www.yuge.ac.jp/student/educationrules>に公表している。また、卒業の認定は、学科ごとに次の要件を満たした学生について行っている。 ・商船学科：学則に定める所定の卒業単位数を満たしていること。大型練習船実習を修了していること。 ・電子機械工学科および情報工学科：学則に定める所定の卒業単位数を満たしていること。 卒業要件の確認は、その結果を教員会議の場において教員の審議を経て校長が認定している。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	入学時に配布する学生便覧に明記、また、 < https://www.yuge.ac.jp/school-guide/policy > 3つの教育方針 < https://www.yuge.ac.jp/student/educationrules > の学則および進級に関する規定

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	弓削商船高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoR2.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoR2.pdf
財産目録	
事業報告書	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/R2jigyohoukoku.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/kansaR2.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の年度計画 対象年度:令和4年度)
公表方法: https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/upload-file%20folder/01_%E7%B7%8F%E5%8B%99/r4-keikaku.pdf
中長期計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の中期計画 対象年度:平成31年(2019年)4月1日から令和6年(2024年)3月31日まで)
公表方法: https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/chuukikeikaku-4th.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:< https://www.yuge.ac.jp/disclosure/self >にPDFを公表

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 商船学科
教育研究上の目的（公表方法 https://www.yuge.ac.jp/school-guide/mission , 学生便覧に記載） （概要）教育基本法（昭和 22 年法律第 25 号）及び学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）に基づき深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。この目的に応じて、商船学科では、船員教育を基盤にした海事総合科学を身につけた技術者の育成を目的としている。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.yuge.ac.jp/school-guide/policy ）の 3 つの教育方針および https://www.yuge.ac.jp/student/educationrules の学則および進級に関する規定） （概要）商船学科は、ディプロマ・ポリシーを定め、Web ページに公表している。また、卒業の認定は、学則に定める所定の卒業単位数を満たしていること。大型練習船実習を修了していることとしている。 卒業要件の確認は、その結果を教員会議の場において教員の審議を経て校長が認定している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.yuge.ac.jp/school-guide/policy ） （概要）教育課程は、授業科目及び特別活動により編成するものとする。 2 授業科目及びその履修単位数は、一般科目にあつては別表第 1、専門科目にあつては、別表第 2 のとおりとする。として学則に定めている。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.yuge.ac.jp/school-guide/policy ）の 3 つの教育方針） （概要） ○求める学生像 ・船や海に強い興味を持っている人 ・好奇心や探究心が強い人 ・自立心が強く根気力のある人 ○選抜の基本方針 （推薦による選抜） ・推薦書及び中学校における調査書に加えて、面接の結果と国語、数学、英語の口頭試問を総合して選抜します。 （学力検査による選抜） ・中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。 ・学力検査は高専機構の作成した国語、数学、英語、理科、社会の 5 教科による試験とします。

学部等名 電子機械工学科
教育研究上の目的（公表方法： https://www.yuge.ac.jp/school-guide/mission 、学生便覧に記載）
（概要）教育基本法（昭和22年法律第25号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。この目的に応じて、電子機械工学科では、ものづくりのできる実践的な技術者－計画・設計から生産・保守運用までできる技術者－の育成を目的としている。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.yuge.ac.jp/school-guide/policy ）の3つの教育方針および https://www.yuge.ac.jp/student/educationrules の学則および進級に関する規定）
（概要）電子機械工学科は、ディプロマ・ポリシーを定め、Webページに公表している。また、卒業の認定は学則に定める所定の卒業単位数を満たしていることとしている。卒業要件の確認は、その結果を教員会議の場において教員の審議を経て校長が認定している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.yuge.ac.jp/school-guide/policy ）
（概要）教育課程は、授業科目及び特別活動により編成するものとする。2授業科目及びその履修単位数は、一般科目にあつては別表第1、専門科目にあつては、別表第2のとおりとする。として学則に定めている。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.yuge.ac.jp/school-guide/policy ）の3つの教育方針）
<p>（概要）</p> <p>○求める学生像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械いじり・ものづくりに興味がある人 ・電気・電子工作に興味がある人 ・コンピュータを使った「もの」の操作に興味がある人 <p>○選抜の基本方針</p> <p>（推薦による選抜）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦書及び中学校における調査書に加えて、面接の結果と国語、数学、英語の口頭試問を総合して選抜します。 <p>（学力検査による選抜）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。 ・学力検査は高専機構の作成した国語、数学、英語、理科、社会の5教科による試験とします。

学部等名 情報工学科
教育研究上の目的（公表方法： https://www.yuge.ac.jp/school-guide/mission 、学生便覧に記載）
（概要）教育基本法（昭和22年法律第25号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。この目的に応じて、情報工学科では、情報リテラシー、情報工学の知識に加え、問題分析、解決能力を備えたシステム技術者の育成を目的としている。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.yuge.ac.jp/school-guide/policy ）の3つの教育方針および https://www.yuge.ac.jp/student/educationrules の学則および進級に関する規定）
（概要）情報工学科は、ディプロマ・ポリシーを定め、Webページに公表している。また、卒業の認定は学則に定める所定の卒業単位数を満たしていることとしている。卒業要件の確認は、その結果を教員会議の場において教員の審議を経て校長が認定している。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.yuge.ac.jp/school-guide/policy ）
（概要）教育課程は、授業科目及び特別活動により編成するものとする。 2授業科目及びその履修単位数は、一般科目にあつては別表第1、専門科目にあつては、別表第2のとおりとする。として学則に定めている。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.yuge.ac.jp/school-guide/policy ）の3つの教育方針）
<p>（概要）</p> <p>○求める学生像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを使いこなしたい人 ・コンピュータのしぐみに興味がある人 ・コンピュータで何かをやろうと考えている人 <p>○選抜の基本方針</p> <p>（推薦による選抜）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦書及び中学校における調査書に加えて、面接の結果と国語、数学、英語の口頭試問を総合して選抜します。 <p>（学力検査による選抜）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校における調査書及び学力検査の結果を総合して選抜します。 ・学力検査は高専機構の作成した国語、数学、英語、理科、社会の5教科による試験とします。

学部等名 海上輸送システム工学専攻
教育研究上の目的（公表方法：< https://www.yuge.ac.jp/school-guide/mission >,< https://www.yuge.ac.jp/student/educationrule >の専攻科学生用手引き）
（概要）高等専門学校における教育の基盤の上に、精深な程度において商船に関する高度な専門的知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する人材を育成することを目的としている。
卒業の認定に関する方針（公表方法：< https://www.yuge.ac.jp/school-guide/policy >の3つの教育方針および< https://www.yuge.ac.jp/student/educationrules >の学則、< https://www.yuge.ac.jp/student/educationrule >の専攻科学生用手引き）
（概要）海上輸送システム工学専攻は、ディプロマ・ポリシーを定め、Web ページに公表している。また、修了の認定は学則に定められており、所定の卒業単位数を満たしていることとしている。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：< https://www.yuge.ac.jp/school-guide/policy >）
（概要）専攻科の教育課程は、学則の中で別表3として定めている。授業科目により編成するものとする。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：< https://www.yuge.ac.jp/school-guide/policy >の3つの教育方針）
<p>（概要）</p> <p>○求める学生像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工学的素養を身につけ海事関係分野で活躍したい人 ・海上輸送管理技術を身につけ社会で活躍したい人 <p>○選抜の基本方針</p> <p>（推薦による選抜）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦書、調査書並びに本校で実施する面接の結果を総合して選抜します。 <p>（学力検査による選抜）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校で実施する学力検査（専門科目、英語、数学）の成績、調査書及び面接の結果を総合して選抜します。 <p>（社会人特別選抜）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦書、調査書及び面接（専門科目に関する口頭試問を含む）の結果を総合して選抜します。

学部等名 生産システム工学専攻
教育研究上の目的（公表方法： https://www.yuge.ac.jp/school-guide/mission , < https://www.yuge.ac.jp/student/educationrule >の専攻科学生用手引き）
（概要）高等専門学校における教育の基盤の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門的知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する人材を育成することを目的としている。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.yuge.ac.jp/school-guide/policy >の3つの教育方針および< https://www.yuge.ac.jp/student/educationrules >の学則、 < https://www.yuge.ac.jp/student/educationrule >専攻科学生用手引き）
（概要）生産システム工学専攻は、ディプロマ・ポリシーを定め、Web ページに公表している。また、修了の認定は学則に定められており、所定の卒業単位数を満たしていることとしている。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： < https://www.yuge.ac.jp/school-guide/policy >）
（概要）専攻科の教育課程は、学則の中で別表3として定めている。授業科目により編成するものとする。
入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.yuge.ac.jp/school-guide/policy >の3つの教育方針）
（概要） ○求める学生像 ・手と頭脳が同時に働く実践的技術者を指す人 ・コミュニケーション能力と国際感覚を備えたい人 ○選抜の基本方針 （推薦による選抜） ・推薦書、調査書並びに本校で実施する面接の結果を総合して選抜します。 （学力検査による選抜） ・本校で実施する学力検査（専門科目、英語、数学）の成績、調査書及び面接の結果を総合して選抜します。 （社会人特別選抜） ・推薦書、調査書及び面接（専門科目に関する口頭試問を含む）の結果を総合して選抜します。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.yuge.ac.jp/school-guide/school_introduction/organization>の組織図および学校要覧に記載

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	6人	—					6人
商船学科	—	4人	7人	0人	3人	0人	14人
電子機械工学科	—	1人	6人	0人	2人	0人	9人
情報工学科	—	0人	6人	0人	1人	0人	7人
総合教育科	—	3人	5人	1人	2人	0人	11人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		32人					32人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://research.kosen-k.go.jp/researcher-list?page=1#frame-122					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
商船学科	40人	45人	112%	240人	227人	94.5%	0名(4年次編入学) 若干名(3年次編入学留学生)	0人(4年次編入学) 0人(3年次編入学留学生)
電子機械工学科	40人	43人	107%	200人	213人	106%	若干名(4年次編入学) 若干名(3年次編入学留学生)	0人(4年次編入学) 0人(3年次編入学留学生)
情報工学科	40人	40人	100%	200人	195人	97.5%	若干名(4年次編入学) 若干名(3年次編入学留学生)	0人(4年次編入学) 1人(3年次編入学留学生)
合計	120人	128人	107%	640人	635人	99.2%	若干名(4年次編入学) 若干名(3年次編入学留学生)	0人(4年次編入学) 2人(3年次編入学留学生)
海上輸送システム工学専攻	4人	2人	0.5%	8人	2人	25%		0人
生産システム工学専攻	8人	13人	162%	16人	25人	156%		0人
合計	12人	15人	125%	24人	27人	112%		0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
商船学科	37人 (100%)	4人 (10.8%)	33人 (89.2%)	0人 (0%)
電子機械工学科	46人 (100%)	9人 (19.6%)	36人 (78.3%)	1人 (2.2%)
情報工学科	42人 (100%)	12人 (28.6%)	28人 (66.7%)	2人 (4.7%)
合計	125人 (100%)	25人 (20.0%)	97人 (77.6%)	3人 (2.4%)
海上輸送システム工学専攻	3人 (100%)	0人 (0%)	2人 (66.7%)	1人 (33.3%)
生産システム工学専攻	8人 (100%)	1人 (12.5%)	7人 (87.5%)	0人 (0%)
合計	11人 (100%)	1人 (9.1%)	9人 (81.8%)	1人 (9.1%)
(主な進学先・就職先) 日本郵船(株)、富士電機(株)、京セラ(株)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 国立高等専門学校機構で統一した Web シラバスのフォーマットに沿って、毎年度、授業計画書を作成し Web にて公開し、最初の講義で学生に対してシラバスの説明を行っている。学習成果の方法をシラバスに明記し、それに沿って学習成果を評価し教員会議の議を経て校長が厳正かつ適正に評価して単位を与えている。学業成績は 100 点法をもって評価している。各期の中間成績および期末成績の際に、学生本人および保護者に成績表を送付し、その成績表にクラス内の席次（順位）と平均点を記載することで通知している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) ディプロマ・ポリシーを定め、<<https://www.yuge.ac.jp/school-guide/policy>> <<https://www.yuge.ac.jp/student/educationrules>>に公表している。また、卒業の認定は、学科ごとに次の要件を満たした学生について行っている。

- ・商船学科：学則に定める所定の卒業単位数を満たしていること。大型練習船実習を修了していること。

- ・電子機械工学科および情報工学科：学則に定める所定の卒業単位数を満たしていること。

- ・専攻科の修了は 2 年以上在学し、所定の授業科目を履修し、62 単位以上を修得すること。

卒業要件の確認は、その結果を教員会議の場において教員が審議を経て校長が認定している。

学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	商船学科（航海）	151 単位	有・無	単位
	商船学科（機関）	149 単位	有・無	単位
	電子機械工学科	167 単位	有・無	単位
	情報工学科	167 単位	有・無	単位
	海上輸送システム 工学専攻	62 単位	有・無	単位
G P A の活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 （任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<<https://www.yuge.ac.jp/campas/buildmap>>および学校要覧

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料	入学金	その他	備考（任意記載事項）
-----	-----	-----	-----	-----	------------

		(年間)			
	商船学科	234,600円	84,600円	212,970円 ~ 200,370円	スポーツ振興センター共済掛金：1,550円、スタディサプリテスト6,120円、学生会費：6,700円、寮生会費（入寮者のみ）：3,000円、寄宿料（入寮者のみ）一人部屋：800円/月、寄宿料（入寮者のみ）複数人部屋：700円/月、教科書代：76,000円、制服代110,000円
	電子機械工学科	234,600円	84,600円	214,970円 ~ 202,370円	スポーツ振興センター共済掛金：1,550円、スタディサプリテスト6,120円、学生会費：6,700円、寮生会費（入寮者のみ）：3,000円、寄宿料（入寮者のみ）一人部屋：800円/月、寄宿料（入寮者のみ）複数人部屋：700円/月、教科書代：78,000円、制服代110,000円
	情報工学科	234,600円	84,600円	193,970円 ~ 181,370円	スポーツ振興センター共済掛金：1,550円、スタディサプリテスト6,120円、学生会費：6,700円、寮生会費（入寮者のみ）：3,000円、寄宿料（入寮者のみ）一人部屋：800円/月、寄宿料（入寮者のみ）複数人部屋：700円/月、教科書代：67,000円、制服代100,000円
	海上輸送システム工学専攻	234,600円	84,600円	21,150円 ~ 8,550円	スポーツ振興センター共済掛金：1,550円、寮生会費（入寮者のみ）：3,000円、寄宿料（入寮者のみ）一人部屋：800円/月、寄宿料（入寮者のみ）複数人部屋：700円/月、教科書代：7,000円
	生産システム工学専攻	234,600円	84,600円	23,150円 ~ 10,550円	スポーツ振興センター共済掛金：1,550円、寮生会費（入寮者のみ）：3,000円、寄宿料（入寮者のみ）一人部屋：800円/月、寄宿料（入寮者のみ）複数人部屋：700円/月、教科書代：9,000円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 1年生対象に初年次教育支援室を設け、入学時学力テストや定期試験の結果をもとに、学習の遅れが見られる学生に対して補習授業をおこなっている。また、時間割にも週2日補習のための時間を設けている。また moodle による e-learning システムを活用している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 各学科に進路指導教員を配置し、企業との窓口として学生支援係を置いている。学生の進路選択に関しては就職指導委員会により審議される。また、3~4年生・専攻科1年生及びその保護者を対象にキャリア教育フォーラムを開催している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生相談室を設置し、カウンセラー2名、スクールソーシャルワーカー、学習相談員による全ての曜日(土・日・祝日は除く)に対応できる体制を整えている。学生の不調を未然に防止するために、学生や教職員に「研修」や学生・保護者に定期的な「アンケート」を実施している。特別の配慮として「支援計画の作成」及び「教職員へのコンサルテーション」の実施、特別な援助として「カウンセリング」及び「医療機関や保護者との連携」を行っている。
< https://www.yuge.ac.jp/school-guide/school_introduction/consultation >

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：公表方法：教育研究上の目的・教育方針< https://www.yuge.ac.jp/school-guide/mission >
基本組織に関すること、教員組織、教員の数< https://www.yuge.ac.jp/school-guide/school_introduction/organization#ORGANIZA_4 >
教員が有する学位(商船学科)< https://www.yuge.ac.jp/subject/ship/teacher >
教員が有する学位(電子機械工学科)< https://www.yuge.ac.jp/subject/mech/teacher >
教員が有する学位(情報工学科)< https://www.yuge.ac.jp/subject/info/teacher >
教員が有する学位(総合教育科)< https://www.yuge.ac.jp/subject/sougou/teacher >
教員の業績 < https://www.yuge.ac.jp/step/researcher >
入学者の数、収容定員、在学する学生の数、卒業生数、進学者数、就職者数、進学及び就職の状況 < https://www.yuge.ac.jp/school-guide/school_introduction/general-condition >
シラバス< https://www.yuge.ac.jp/subject/syllabus >
学習の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準 < https://www.yuge.ac.jp/student/educationrules >
校舎等の施設概況 < https://www.yuge.ac.jp/school-guide/school_introduction/institution/condition >
教育施設・設備 < https://www.yuge.ac.jp/school-guide/school_introduction/institution >
入学料、授業料(本科)< https://www.yuge.ac.jp/entrance/country >
入学料、授業料(専攻科) < https://www.yuge.ac.jp/wp-content/themes/yugekousen/data/r5_senkouka.pdf >
寄宿料< https://e-campus.yuge.ac.jp/shirasuna/about.html#expenses >
学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること < https://www.yuge.ac.jp/school-guide/school_introduction/consultation >

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	G138110110497
学校名	弓削商船高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		54人	44人	58人
内 訳	第Ⅰ区分	34人	28人	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				58人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		-	-
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)		-	-
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		-	-
「警告」の区分に連続して該当		-	-
計		-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	前半期	後半期
	0人	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	-
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)		-	-
G P A等が下位4分の1		-	-
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		-	-
計		-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。